20230407 更新

教室ネットワーク DHCP 利用手順

-Windows 11-

1.はじめに

1.1 本マニュアルの目的

本マニュアルは持ち込み PC を一般教室の有線ネットワークで利用する手順をまとめたものです。 本手順を実施することにより、申請無しで一般教室有線ネットワークを利用することができます。

1.2 注意事項

・教室環境は学内アクセス可能なネットワークです、教職員のみご利用ください。

・大学(情報システム課)から提供している研究室用 PC では利用できません。

1.3 利用 ID/パスワードについて

ネットワーク利用の認証には kaede-net の ID とパスワードを使用しています。 kaede-net のパスワードを変更した場合は有線ネットワークの利用できなくなります。 パスワードを変更後は、「2.11 の資格情報の設定」を再度実施してください。

1.4 一般教室の有線 LAN 利用場所について

本手順書にて利用できる有線ネットワークについては情報システム課ホームページでご確認ください。

URL : https://www.kokushikan.ac.jp/research/cis/facility/net/howto.html

一般教室 有線 LAN (DHCP) をご参照ください。

2.教室 DHCP 利用手順(事前準備)

2.1 タスクバーの検索から「サービス」を検索して、表示されたアプリケーション「サービス」 を起動します。



2.2 サービス一覧にある「Wired AutoConfig」をダブルクリックし、下記の設定を指定します。

	O サービス (ローカル) Wired AutoConfig			説明	状態	スタートアップの種類	<u>ログオン</u>
	サービスの開始	Wired AutoConfig		Wire		手動	Local
		See WLAN AutoConfig	<u>.</u>	WLA	実行中	自動	Local
(ローカル コンピュータ	ー) Wired AutoConfig のプロパティ	×	e er	Wind		手動	Local
A#2				CMP	中午中	于则	Local
±/0X U///	回復 107仔菌派			3010 7∕0∰	実行市	白動	Local
#-F72.	dot3svc			201	実行中	王勳	Local
2 CAR	dousie		ne	This	×0.1	手動 (トリガー開始)	Local
表示名:	Wired AutoConfig		Sec. 1	Xbox		手動 手動	Local
20 BB.	Wired AutoConfig (DOT3SVC) #-	ビスは、イーサネットイン		このサ		手動 (トリガー開始)	Local
57.499:	ターフェイスに対して IEEE 802.1X 認証	を実行します。現在のワ	}	このサ		手動	Local
	イヤード ☆┉トローク屋間が 907 1¥ 扨	証を強制する場合		Intel(自動	Local S
実行ファイルの/	(ス:		サ	このサ		手動	Local S
スタートアップの 種類(<u>E</u>):	自動	~		1ス	タート	アップの種類	類:[
	軍行中			②サ-	-ビス	の状態:開	始
サ <mark>ービスの状態</mark> :	COLOR OF						
サービスの状態: 開始(<u>S</u>)	停止① 一時停止④	2) 再開(<u>R</u>)					
サービスの状態: 開始(<u>S</u>) ここでサービスを	停止(1) 一時停止(5) 局始するときに適用する開始パラメーターを指定	2) 再開(<u>R</u>) をしてください。					

2.3 スタートメニューから設定(歯車のマーク)を選択します。

ビン留め済る	74			すべて	のアプリ >
C Edge	Word	Excel	PowerPoint	Microsoft Store	7 #F
or De	Clipchamp - 動 画エディター	T.	XT模	ब्यू हर्म्य १	19270-5
20 77IJZF7	VMware Workstation 17				
おすすめ					
デバイスをもっ	と使えば使うほど、新しい	いアプリがもっとき	くここに表示されます。		
					(1)

2.4 設定画面から「ネットワークとインターネット」を選択し、「ネットワークの詳細」をクリ ックします。

← 19定		- 0 X
- לכלת את-ם	ネットワークとインターネット	
設定の検索 Q	Wi-Fi (プロパティ パブリック ネットワーク 5 GHz	データ使用状況 2.51 GB、過去 30 日間 >
🗖 ୬ステム		
🕴 Bluetooth とデバイス	🛞 Wi-Fi	±2 ○ >
▼ ネットワークとインターネット	 接続、限知のネットワークの管理、従量制課金接続 	
🥖 個人用設定	⑦ VPN 過加,接続、管理	>
עליד 🔛		
アカウント	(p) モバイル ホットスポット インターネット接続を共有する	₹7 ● >
5 時刻と言語	。	200 - CO.
🚥 ゲーム	ゆう 「彼らして」 ワイヤレス通信を停止	<i>オ</i> フ ● >
🔭 アクセシビリティ	ロ ブロキシ	
プライバシーとセキュリティ	Wi-Fi およびイーサネット接続向けプロキシ サーバー	>
∂ Windows Update	ダイヤルアップ ダイヤルアップ インターネット接続をセットアップ	>
		>

2.5 「イットノークアタノター オノンヨンの詳細」を選択しま

← 設定				×
ローカル アカウント	ネットワークとインターネット > ネットワークの詳細設定 *ットワーク <i>アタ</i> フター			
設定の検索 Q	WI-Fi Intel(R) WI-Fi 6 AX201 160MHz	無効にする	~	
 システム Bluetooth とデバイス 	VMware Network Adapter VMnet1 VMware Virtual Ethernet Adapter for VMnet1	無効にする	~	
 ネットワークとインターネット 個人用設定 	VMware Network Adapter VMnet8 VMware Virtual Ethernet Adapter for VMnet8	無効にする	~	
 アプリ アカウント 	その他の設定			
時刻と言語	共有の詳細設定 ネットワークの検出と共有の設定を変更する		>	
∞ ゲーム ★ アクセシビリティ	データ使用状況		>	
 プライバシーとセキュリティ Windows Update 	ハードウェアと接続のプロパティ		>	
	ネットワークのリセット すべてのネットワーク アダプターを出荷時の設定にリセットする		>	
	関連設定			_
	ネットワーク アダブター オブションの詳細		Ø	1
	Windows ファイアウォール		Ø	1

2.6 表示された画面から有線 LAN アダプターを右クリックし、「プロパティ」を選択します。



2.7 「認証」のタブを選択し、「ネットワークの認証方法の選択」の[設定]をクリックします。

	×
ネットワーク 認証 共有	
このイーサネット アダプターに認証済みのネットワーク アクセスを挑 は、このオプションを選択してください。 IEEE 802.1X 認証を有効にする(<u>N</u>)	是供するに
ネットワークの認証方法の選択(<u>M</u>):	
Microsoft: 保護された EAP (PEAP) 🛛 🗸	設定(5)
☑ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(<u>R</u>)	
 ☑ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R) ☑ 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(E))
 ● ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R) ● 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(E 追加の設定(D))
 ✓ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R) ✓ 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(E 追加の設定(D))
 ☑ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(<u>R</u>) ☑ 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(<u>E</u> 追加の設定(<u>D</u>)…)

2.8 「認証方法を選択する」の[構成]をクリックし、表示されたウィンドウ(接続のための認証 方法)のチェックを外します。設定完了後、各ウィンドウの[OK]を選択します。

保護された EAP のプロパティ	×
接続のための認証方法:	EAP MSCHAPv2 のプロパティ ×
マ 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(⊻)	接続のための認証方法:
□ 次のサーバーに接続する(例: srv1、srv2、.*¥.srv3¥.com)(Q):	 Windowsのログオン名とパスワード(およびドメインがある場合はドメイン)を自動的に使う(A)
信頼されたルート証明機関(R):	OK ==++>/7//
AAA Certificate Services	
Baltimore CyberTrust Root	
Certum Trusted Network CA	
Class 3 Public Primary Certification Authority	
DigiCert Assured ID Root CA	
DigiCert Global Root CA	
接続前の通知(<u>T</u>):	
サーバーの ID を確認できない場合にユーザーに通知する	~
認証方法を選択する(<u>S</u>):	
セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) × 構	مَن <u>م</u> لك من الم
✓ 高速再接続を有効にする(F)	
□ サーバーに暗号化バインドの TLV がない場合は切断する(D)	
 ID ブライバシーを有効にする(!) 	
OK ŧ	ヤンセル

2.9 下記画面に戻り、[追加の設定]をクリックします。

🖳 イーサネットのプロバ	71	×
ネットワーク 認証	共有	
このイーサネットア は、このオプション	ダブターに認証済みのネットワーク アクセス: を選択してください。	を提供するに
V IEEE 802.1X	2証を有効にする(<u>N</u>)	
ネットワークの認識	E方法の <mark>選択(<u>M</u>):</mark>	
Microsoft: 保護	lされた EAP (PEAP) シ	設定(S)
🕑 ログオンするた	びに、この接続用の資格情報を使用する(]	<u>R</u>)
🕗 承認されてい	ないネットワーク アクセスにフォールバックする	Þ(<u>F</u>)
追加の設定	Ē(<u>D</u>)	

2.10 「認証モードを指定する」のチェックを有効化し、「ユーザ認証」に設定して[資格情報の保存]をクリックします。

iV の設定		
☑ 認証モードを指定する(P)		
T HE ENER	2717111110	975/0

2.11 資格情報の保存画面が表示されたら、学内 PC を利用するときの ID/パスワードを入力し、 [OK]をクリックします。

Windows セキュリティ	
資格情報の保存	
資格情報を保存すると、ユーザーが トワークに接続できます (更新プログ	ログオンしていなくてもコンピューターはネッ ラムをダウンロードする際など)。
OK	+ =>>+==

3.教室 DHCP 利用手順(接続)

3.1 教室の有線 LAN に 2 で設定した PC を LAN ケーブルで接続します。

3.2 LAN ケーブル接続後、下記のイーサネット認証画面が表示されますので、[接続]をクリックします(初回のみ)。

イーサネット認証	\times
・ サーバーの ID を確認できません ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
組織のイーサネット ネットワークに接続しようとしている場合は、続行して接続してくださ	šい。接
続を続行しますか?	
▼ 詳細 接続(C) 接続	しない(D) ―

以上で Windows11 における教室有線 LAN 接続手順は完了です。